

2015 年バランス理論講座コラム

スタートコラム この理論のルーツとビジョン

現在の三点バランス理論やオーダーメイドの考え方に気が付き始めたのが1980年頃からと思います。スキープレーヤーとして、メーカーのスキーブーツ開発のスタッフとして、各種の有名なインソールを使用していました、でも常に、このインソールで勝てるのだろうか？ 選手のパフォーマンスを引き出すことができるのだろうか？ そんな葛藤をしながら、スキーや様々なスポーツの世界に身を置いていました。

そして、1994年頃から本来の人間の持つ理想の姿勢や潜在的なパフォーマンスを発揮できる方法が見えてきていました。スキーヤーの膝関節をスキーのトップに真っ直ぐに向ける事、身体の前後左右の荷重を両足に均等に分散させる事、この意味と方法が解ったのです。

2008年に特許申請を行い、2013年に特許取得した、現在の「オーダーメイドインソール」の技術がその全てです。足元から骨盤の前後左右位置や傾きを調整することで、より鉛直な身体を築いて、無意識な状態で姿勢保持力を高める事が可能となり、少ない筋力で姿勢保持を行う事により、運動時の筋力を大きく引き出すことも可能となりました。

人間の身体は、遺伝と生活環境・習慣によって変化します。骨の長さや曲り度合、各関節の可動範囲など、様々な理由で骨格が形成されて、歪みも起きてきます。

身体の歪みを調整して、鉛直でバランスのとれた体を築くことで、スポーツにおいては、無意識に体幹の整ったハイパフォーマンスな土台が出来上がります。

美容やダイエットも足元からの姿勢改善を行う事によって、大きな効果が得られるでしょう。そして、加齢によって筋肉量が落ちてきている高齢者も綺麗な姿勢を取り戻すことによって、いつまでも自分の足で歩ける体を持つ事、そんな可能性も十分にあります。

私の開発したインソールや座布団等の多くの商品は、世の中の同様の商品とは、全く異なった商品であり、人間本来の機能を発揮させることに重点があります。だからこそ、世の中の誤った考え方を改善して、人間本来の理論を啓蒙して行く事が重要と考えています。

数年前より東京と関西で毎月、代理店向けの三点バランス保持セミナーを開催してきています。医師や治療家、スポーツトレーナー等、参加者は様々ですが、この理論の理解は元より、数十

年先の未来に向けての「健康姿勢管理」というビジョンを持っていただいています。

そして、数年間このセミナーを行っていく中で、近頃、参加者(現既存代理店)の理解度に差が表れている事に気づかされました。

- 1、 世の中の商品との違いが理解できている段階
- 2、 理論が理解できて、アウトプットが出来るようになってきた段階
- 3、 メーカーや他の代理店とビジョンが共有できる段階
- 4、 この商品の持っているビジネスが理解・展開できる段階

上記のような4つの段階を感じる様になりました。

この商品は、理論を伝えていく事が重要であり、只の物品販売では、未来の健康な社会を築くことはできません。他の商品との違いをアピールする事だけでも、簡単に商品を販売することができます。でも、その様な販売から継続的な信頼関係や一族・地域に対しての姿勢管理が行われる事は無いでしょう。

しっかりと理論を理解し、お客様に伝えていく事で、BALANCE商品を活用した健康に向けての一族管理や地域管理、スポーツ振興が行われなくてはなりません。

老人の医療費や介護費用が膨大に膨れ上がる中で、杖の要らない綺麗な姿勢に改善していく事の出来るこの理論や商品は、現状は勿論の事、近未来の子供たちの身体を築いていく作業と言っても過言ではありません。

日本に限らず、世界の常識を覆すこの理論や商品が、履物革命を引き起こし、未来に向けての大きな現象となっていくでしょう。

最後に、このスタートコラムをお読みになった代理店の皆様には、ご自身の段階や現状でのビジネス展開を再考して頂き、共に、更なる飛躍の年として頂きたいです。

毎月のセミナーも再受講の先生方で、更に熱気を持った内容となって来ています。

お気軽にご参加ください。

本年のコラムは、1月中旬より、「人間の立ち姿勢」から考えて行きたいと思っています。